

## 授業改善等に関する報告書（平成 26 年度前期）短期大学部

記入年月日	2014年 9月 26日
科目区分 (該当するものを○)	共通教育科目： ( ) 必修 (○) 選択 学科・課程専門科目： ( ) 必修 ( ) 選択必修 ( ) 選択
対象学年 (該当するものを○)	(○) 1年 (○) 2年
授業科目名	子どもと学校文化
担当教員名	竹内敏晴

教育効果の向上を目的として実施した工夫や取り組み等について、また学生の要望に対する対応（フィードバック）等について、ご記入下さい。

### 記入欄

受講生は 29 名、うち当日の回答者（出席者）は 27 名であった。一般的な授業アンケートフォーマットにより、6 月第 1 週にアンケートを行った。

設問 1 の予習・復習の習慣については、「全くしない」が 63%で、「たまにする」33%、「ほぼ毎日する」3.7%を大幅に上回った。6 割以上が予習・復習を何もしないのは、予習・復習の材料を教師側から適切に提示できていないことが原因と思われる。次週の学習予告、学習の準備及びその日の授業終了時における本時のまとめ、などを毎回周知させる工夫をする必要があると痛感し、授業の最後に、毎回次時の学習予告をすることにした。

設問 2 の難易度では、「ほぼ理解できる」が 74%であるが、「易しい」7.4%に対し、「難しい」「理解できない時がある」が併せて 18.5%と、やや難しいと思っている者が 2 割弱いる点は、教育用語の丁寧な説明や事例の取り上げ方（DVD やスライド活用）等に工夫を要すると思った。

問 3 の授業のスピードでは、「早い」「やや早い」が合計で 11.4%に対し、「遅い」と考えた学生はなく、「ちょうど良い」が 88.9%と、全体の 9 割近くがちょうど良いと受け止めていた。

自由記述では、「パワーポイントの発表が緊張するのでやめて欲しい」「いきなりパワーポイントの発表と言われてもちょっと困った」と、パワーポイントを使用してのプレゼンテーションに不慣れな学生から戸惑いの声があがった。ソフトの使用経験の有無がスライド作成を左右するので、来年以降からはスライド作成用の簡易マニュアルの配布を検討してみたい。

また、「少しうるさいと思う」と授業時の学生同士の私語について指摘する記述があり、教員側からの学生に対する注意を暗に指示している。私語のある時に何度か注意を与えたが、聞き入れるのはその場限りで長続きしない。私語をする学生への適切な注意の与え方、私語をさせない（増やさない）授業方法およびその改善をさらに工夫していきたい。

## 授業改善等に関する報告書（平成 26 年度前期）短期大学部

記入年月日	2014年 8月 16日
科目区分 (該当するものを○)	共通教育科目： ( ) 必修 ( ) 選択 学科・課程専門科目： (○) 必修 ( ) 選択必修 ( ) 選択
対象学年 (該当するものを○)	(○) 1年 ( ) 2年
授業科目名	情報資源組織法 1
担当教員名	松尾 昇治

教育効果の向上を目的として実施した工夫や取り組み等について、また学生の要望に対する対応（フィードバック）等について、ご記入下さい。

### 記入欄

汎用のアンケート用紙を使って、学生からの意見を聞いた。

予習・復習の習慣については、殆どの学生が「全くしない」「たまにすることがある」と回答しており、この点については、宿題を出すことやレポート課題を出すことなどにより、自宅学習をするように指導することを考えたい。

この授業は技術の習得を目指す科目であるので、丁寧に教えることを心がけているが、「理解できないときがある」「ほぼ理解できる」の回答が半々となっている。理解が及ばない学生への対応をどのようにするかが課題と思うので、ビジュアル化の工夫などをする事考えてみたい。

また、授業の進行スピードについては殆どの学生が「ちょうど良い」との回答であったが、上記と同様にスピードを落として板書を多くしながら、詳しく説明するように心がけてきた。しかし、授業の進捗状況から言えば、説明できなかった分野が残ったので、今後の改善としていきたい。

さらに、新しい教室で、横長に机が配置されているので、幅広のホワイトボードの字が見づらい、読みづらいと記載した学生が多くいた。マーカーを太字に変えることをお願いしたいと思います。